

「国際会議場」の建設

「町民合意」が必要です

町長 これから理解を求めていく

笠原

先日の本会議で「G20の誘致に関する国際会議場」

(以下、「会議場」と

略)の関連予算が原案どおり可決された。たいへん大きな事業であるにも関わらず、事案に対する審議時間が十分ではなく、まだまだ不確実な点が多くある。また、計画に対する「町民合意」もまったくと言っていいほどできていない。改めて以下の点についての説明を求める。

- ①「会議場」の建設決定までの経緯等について。
- ②議会対応等について。



笠原 啓仁 議員

③「町民合意」等について。

町長

①誘致を正式に表明したの

は9月15日。「国際会議場」の建設を決めたのは、11月に入ってからのこと。

町民要望

町長の「英断」で実現を

笠原

町長は先日の総務常任委員

会で、G20誘致に関する「国際会議場」の建設決定を「英断」と自ら述べた。一方でいまだに実現されていない「町民要望」は数多くある。十数億円とも言われる今回の「国際会議場」の建設を決定したように、切実な「町民要望」も町長の「英断」で実現すべきと思うが、どうか。以下の「町民要

②「国際会議場」建設を議会に初めて報告したのは、11月24日の総務常任委員会と経済建設常任委員会。

③町民にはこれからいねいな説明を行い、理解を求めていく。

望にどのような「英断」を下すのか。

- ①福祉ハイヤーチケットの配布増。
- ②冬季での「福祉灯油」の実施。
- ③「間口除雪」の実施。
- ④町営プールの全面改修。
- ⑤公民館のエレベーター設置。
- ⑥公衆浴場の整備。
- ⑦図書館の建設。
- ⑧高齢者向け住宅の建設。

町長

①チケット配付増について

は、今のところ据え置く考えだ。

②今後、状況を注視しながら検討していく。

③今後は、実際に住宅の間口状況などの確認を行い、さらに検討を進めていく。

④他の老朽化施設の兼ね合いも考慮した中で、今後の施設の維持について教育委員会と十分協議していきたい。

⑤現在の財政事情からはすぐには厳しい。

⑥当面現在の施設を維持管理しながら継続利用していきたい。

⑦しかるべき時期に判断したい。

⑧現在、民間による高齢者専用賃貸住宅の建設を支援する地域有料賃貸住宅制度の創設に向けて検討、準備を進めている。

町長の町政運営

独断専行が過ぎませんか

笠原

町長の任期も残りあと1年

に当たる町長のこれまでの姿勢を見ていると、「独断専行が過ぎるのでは」と思わざるを得ない。東京での仕事が多すぎて、庁舎内外の人心が離れていることに気づいていないのではないかと。残りの任期は、しっかりと地に足を着けて自らの公約の実現に向けた地道な活動が望まれる。そのためにも、町長自身の手足・目・耳・口を、もっと庁内協議や町民合意のために使うべきだ。就任からこれまでの自らの町政運営を町長自身はどう評価しているのか。

た政策を積極的に展開するため、町議会を初め関係機関、関係団体と密接に連携しながら総合的な取り組みを推進していきたいと考えている。

その他に2件(『ひらふ中核施設』中止すべきではありません』、『副町長辞職』、町長はどう認識していますか)の質問を行いました。

町長

これからも新しい発想や工夫で時代の変化に対応し

一般質問 笠原啓仁